

平成 27 年 2 月 6 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 27 年 3 月期第 3 四半期（4-12 月）決算について

預貸金、貸出先数とも好調を維持、第 3 四半期純利益は過去最高益を更新

平成 27 年 3 月期第 3 四半期単体決算は、コア業務純益、経常利益は減益となるも第 3 四半期純利益は過去最高益を更新しました。

【単体決算概要】

(単位：百万円)

	平成 27 年 3 月期 第 3 四半期	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期	前年同期比
資金利益	22,801	23,034	△233
預貸金収支	16,696	16,794	△98
有価証券利息配当金	6,027	6,154	△127
コア業務純益	7,739	8,210	△470
経常利益	7,995	9,674	△1,679
第 3 四半期純利益	8,579	6,168	2,411

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 516 億円増加の 1 兆 8,558 億円、貸出金は、同 229 億円増加の 1 兆 3,296 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

また、新規事業所開拓が順調で事業性貸出先数は前年同期比 855 先増加し、13,197 先に達しました。

2. コア業務純益について

コア業務純益は、資金利益が貸出金利の低下が続くなか、前年同期比 233 百万円減の水準を維持したものの、機械化関連投資等による減価償却費用の増加などもあり、前年同期比 470 百万円減少の 7,739 百万円となりました。

3. 経常利益及び第 3 四半期純利益について

経常利益は、償却債権取立益の減少などにより 7,995 百万円となりましたが、第 3 四半期純利益は、子会社である東和フェニックス株式会社の解散に伴う繰延税金資産の計上もあり 8,579 百万円と過去最高益となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体 10.68%、連結 10.88%となりました。

5. 平成 27 年 3 月期通期の業績予想について

平成 27 年 3 月期通期の業績予想については、平成 26 年 10 月 30 日公表時の業績予想から変更はございません。

以 上